



住民主体のまちづくりを 目指すためにⅡ

無会派 ● 大島 正秀 議員

問 庁舎建て替え案について

答 図書館や保健センターなど、耐震基準を満たしている建物はタウンミーティングや庁舎整備特別委員会からも意見を頂き、基本計画の提言書についての考察にもある様に、既存の施設を利用する事も視野に入れて引き続き協議を進めます。西庁舎周辺計画についても、新庁舎の完成が平成32年度末を予定、併せて公共施設等マネジメント推進委員会を平成30年度に立ち上げ、有識者や市民の代表を交えて方向性について議論を深めて行きます。住民の皆様に向けて必要の理解を頂く為に広報活動を積極的に進めます。

問 石部駅の改善・改築について

答 JR西日本と協議の末、駅舎の位置変更



石部駅舎



は出来ません。図面についても合意に至っていません。公園整備進入路については道路管理者・公安委員会と協議し円滑に進めていきます。着工時期はバリアフリー化の目標が平成32年度という事もあり、速やかに合意を図るべく努力します。住民・利用者を交えての研究チームは現在考えていません。

問 市営住宅の運営について

答 市内11カ所に在る市営住宅で耐用年数および劣化が著しく激しい住宅については募集は行っていません。現在住んでおられる方々の意見を尊重し、慎重に整備事業を推進します。

学力も体力も朝ごはん（食育） から！！

誠心会 ● 小林 義典 議員



食育の推進について！

問 小中学生のための食育についての取り組みは。

答 学校における食育の取組みは、「食に関する指導」全体計画および年間指導計画に基づいて推進しています。小学3年生で「地域の農業」小学5年生で「農業の盛んな県」について学んでいます。さらに、体験的な学びとして、米の栽培・収穫・活用を学んでいます。また、理科や生活科などで栽培した野菜を調理していただくのも全校共通した取組みです。

朝ごはんの推進と子ども食堂について！

問 子供の朝ご飯の摂取率低下の対策は。

答 学力・体力共に朝食の摂取との間に、明らかな相関関係が認められます。市内の小中学校では、親子で朝食の重要性について考え

る学習、栄養教諭・学校栄養教員・保健体育科教員との連携による食指導や委員会活動による、標語募集などの啓発活動に、これまでも取組んでいます。さらに今年度は、文部科学省指定「早寝・早起き・朝ごはん」推進校事業の指定を受け、石部中学校と甲西北中学校において取組みを進めています。子ども食堂については、各まちづくり協議会に事業の一つとして、お願いしているところですが、市内においては、数年前から、石部南学区が、今年度から次年度においては、2つのまちづくり協議会が手を挙げています。今後も各まちづくり協議会において、検討されることを望みます。

